

「ふくおか」から発信する、市民公益活動の情報誌

「明日を担う市民」への思いをこめて

ASUMIN

NOTE

[あすみんノート]

2019 Spring

No.

15

Asset for the future

Special Issue

まちの誇りを未来につなぐ

Voice

石井幸孝 (NPO法人福岡城市民の会)

GOOD ACTIVITY FILES

特定非営利活動法人博多の風
特定非営利活動法人西鉄ライオンズ研究会
福岡市観光案内ボランティア協会
特定非営利活動法人3Knots(スリーノット)

@DATA

歴史が積み重なるまち

Asumin Information

Asumin Recommend

登録団体ファイル

Hondana!

シビックプライド 都市のコミュニケーションをデザインする

Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号640~654

まちの誇りを 未来につなぐ

今回のissue(論点)は、都市が持つ資産の活かし方。とくに、このまちで育まれた豊かな歴史や伝統・文化について、いかに有意義に価値あるものとして後世に伝えていけるのかを考えてみます。

私たちが暮らす福岡・博多は、数千年に及ぶさまざまな時代の変遷を経て、多くの先人たちの叡智や努力に支えられ現在に至ります。それらの資産は、ただ守り伝えるだけではなく、自分たちで紡ぎ創造することによって、より大きな価値として未来に継がれていくはずです。このまちで生まれた誇りを、いかに未来につなぐか。さまざまな観点や手法による取り組みをご紹介します。

●福岡市にある主な文化・歴史との接点

金隈遺跡	博多人形
金印 印文「漢委奴國王」	博多鉄
元寇防塁	博多曲物
筑前國一之宮 住吉神社	博多松ばやし
博多織	福岡市赤煉瓦文化館
博多祇園山笠	福岡城跡・鴻臚館跡

●福岡市誕生までの歴史 (参考:福岡市ホームページ)

紀元前4世紀頃～

紀元前2世紀～紀元前1世紀

57年

536年

7世紀後半～

11世紀後半～12世紀

1274年、1281年

1401年

1587年

1601年～1607年

1889(明治22)年

板付遺跡(大陸から稲作技術をいち早く導入)

吉武高木遺跡(最古級の王墓、クニの萌芽)

奴国王が後漢に朝貢し「漢委奴国王」の金印を授受

大和朝廷が那の津の口に「那津官家」を設置

筑紫館(後の鴻臚館)を設置

貿易拠点が鴻臚館から博多へ移行

文永の役・弘安の役(元寇防塁を築く)

博多商人肥富の勤めで遣明船が派遣される

豊臣秀吉が博多の町割りを命じる

福岡城築城

福岡市の誕生

VOICE

ボイス

NPO法人福岡城市民の会

石井 幸孝さん

Yoshitaka Ishii

活動の「きっかけ」は？

僕は、広島生まれですが3歳からは東京育ち。カルチャーとしては、東京人だと思います。先祖は関西か九州らしいですけどね(笑)。異動で福岡に来たのは、高度成長の終わり頃でした。もう九州に30数年住んでいます。昔から東京での福岡のイメージは、大阪の向こうにある程度。せいぜい、テレビで見かけるのも、どんたくとか太宰府の梅が咲いたという



感じでした。それが、昭和50年に新幹線が博多まで開通して以来、西日本最大の都市へと変貌していきました。それからしばらく経って、当時の桑原市長とよく話したのは、このまちに人が集まるのは「経済ベース」ばかりで、豊かな歴史や文化は、ほとんど語られていないという事です。歴史都市として思いつくのは奈良や京都ばかりで、福岡・博多は経済都市なのだ。こういう文化力みたいなものが、長い目で見るとまちのパワーや発展の基礎になるのに、日本一歴史が古くって日本一文化が蓄積されている福岡の人にはそこに関する興味や関心がないんです。まちの文化や歴史の面は、将来への布石としてきちんとしなきゃいけないけど、

今回のvoiceでは、福岡城・鴻臚館の復元・整備の促進を市民の

東京と同じように人口が増え続けているので、地域をなんとかしようというハングリーさがないんだと思います。



の一番の象徴になるもので、観光で訪問すると、どんなお城があるか気になるものです。

なぜ、団体を作ったのですか？

NPO法人になったのは2005年だから、今年で14年になります。団体発足のきっかけとなったのは、僕のもともとの職場であるJR九州の頃の話です。地域密着という会社の理念があり、ウォーターフロント開発とかプロサッカーを呼ぼうとか、福岡市とも一緒にいろんなことをしていました。ちょうどその中に、福岡城が400年(1607年完成)という節目も控えていたんです。いろいろと聞いてみると、どうやら立派な天守閣も構えた西日本最大級のもので、復元したいという人も結構いる。放っておく手はないと、ソフト・ハードを含めた地域の核づくりがはじまりました。

お城には、人を引き寄せる何か？

お城って、世界中のどこにでもあります。ランドマークとしては、まち

一方で福岡は、お父さん達が飲みに行く場所や、女性がい物をする場所はあるけど、観光でどこに行こうかってピンと来ない。国内でも海外でも、行きますよね。そのまちの象徴的なところに。だから僕たちは、「福岡って行くところがないね」という市民の意識の返上をスローガンに掲げています。だけど、ランドマークって、建物を作ればいいわけではないから難しい。「福岡なら、あそこに行った？」と口にできるような言葉のランドマークにならないと意味がないと思います。

福岡城への地元のイメージは？

“城南区”もあるように、お城の存在は地名にもでています。だけど、若い人は知らないんです。行ったことないとか、そもそもお城なんてないとか。現状では、大濠公園は綺麗だけど、福岡城跡がある舞鶴公園は都会の密林になっています。

GOOD ACTIVITY FILES

グッド・アクティビテ

21

博多の町の伝統を重んじながら、新しい風を吹かせる

特定非営利活動法人 博多の風

博多のまちと博多祇園山笠を愛する人が集まり、「伝統は守り伝えるだけでなく、自分たちで創っていくもの」「伝統を創造し、歴史に残すこと」をモットーとして、博多のまちを元気に



する活動を展開。講師を招いて学ぶ市民フォーラムや、博多祇園山笠の昇き手が案内人となる「追い山笠コース探訪」などのイベントを通じて、博多の魅力を広めています。また、中学生までを対象とした、作文よりも肩の力を抜いて書ける「楽文コンテスト」など、次世代の育成にも力を入れています。

22

福岡に語り継がれる もう一つのプロ野球球団

特定非営利活動法人 西鉄ライオンズ研究会

昭和の時代に平和台球場を本拠地として誕生し、福岡のまちに多くの伝説を残した「西鉄ライオンズ」。“野武士軍団”として名を馳せた黄金期を中心に、激動の時代の中



で生まれた偉業と、それに関わった地域の人々の活動を風化させないよう、プロ野球を愛するすべての人に語り継ぐために結成されました。現在は、当時の史料収集が主な活動ですが、球団関係者による講演会や展示会への史料提供、関連施設への見学ツアーなども随時行っています。

福岡城市民の会では、福岡城と場合によっては鴻臚館も含めて、保存し復元することを第一条に掲げています。福岡城も鴻臚館も同じ場所だから、どっちを復元するって困るところですが(笑)。文化財保護法が曖昧だった昭和30年代までに、全国には多くのお城が復元されました。しかしそれ以降は、復元はいいけど、ちゃんとした文献がないと作らせないと厳格になりました。つまり、福岡はお城を作り損なったんです。だけど、その頃には、この場所に平和台球場や陸上競技場を作ります。僕は、福岡の人というのは過去に生きず未来に生きる人だから、それでよかったと思います。平和台球場というのは、当時の人にとっては画期的なもので、福岡市民の求心力になったランドマークです。見に行くというより遊びに行く拠り所。そういう点では、未来志向の市民ですね。

これからの展開を教えてください

福岡のランドマークを目指す活動は、もちろん続けますが、日本全体では大きな災害に見舞われたりと、復元という壮大なプロジェクト

はお金がなくて難しい状況です。文化庁も「保存復元」という言葉をやめて、「整備活用」に変更しました。だから、僕たちももっと緩やかに、勉強会や400年を機会としたイベント、大河ドラマを呼ぼうとか。いろんな企画を進めました。その中で今は、天神ビックバンや六本松のタウンづくりと連携した都市のオアシスづくりに取り組んでいます。将来的には、天神の昼間の人口は2.4倍になると言います。人だらけになる中で一息つきたいと思える場所ってここしかないんです。最近では、大濠公園と舞鶴公園が一体化して魅力高めようとセントラルパーク基本計画検討委員会も始まりました。復元もあるけど、今あるものを活用し地域のために役立てる方向になっています。

お城の未来だけではなくまちの未来も考えるんですね

もちろん。むしろ僕はそっちが専門家ですから(笑)。世の中は、経済活動と文化活動を別に捉えがちですが、僕はセットだと思っています。ヨーロッパではこの二つをドッキングして捉えますが、日本は苦

手ですね。戦後はそんな余裕もなく、走りながらやってきた背景はありますが、日本は、経済大国ではあるけど文化面の活かし方は、まだまだ途上国です。経済も先細りすることが明らかの中で、これから力を入れるべき視点だと思います。経済界には、文化や歴史の振興にお金を出すというよりも、その価値を理解して投資するようになってほしいんです。黒田如水がそうだったように、昔からトップリーダーというのは、文化への理解もある人なのです。これからは働き方改革などもあり、外国の方が多く入ってきます。その人たちを迎えるにあたって、経済じゃなく文化とか日本で働く意味とか、そういうことを共有しないと、日本に明るい将来はないと思います。僕たちの活動は、その一端を担っていると自負しているんですけどね。

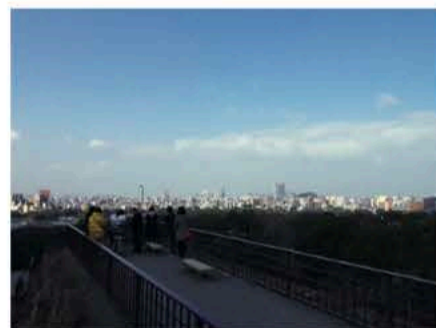
それが石井さんが福岡で忙しくしている理由ですか？

日本とアジアの鉄道の仕事もやっ

ているし、結構、暇はないです(笑)。すべての仕事の成功は、ハードやソフトだけじゃダメ。ハートがモチベーションになり、繋がって行くものだと思います。金勘定ばっか

りではなく、みんなが応援してくれる仕組みづくりが重要です。集まる人が楽しくなきゃ。お金じゃなくて自分がなにかを実現しなきゃとい

うことが大事だと思います。福岡城市民の会には、城内外のガイドをしたい人や、NPO運営の仕事をしたい人など、ご自身の楽しみを見つけた多くのボランティアさんが集まっています。活動に参加したい方は、ぜひお越しください。歓迎します。



▲福岡城天守台跡から望む市街地

NPO法人 福岡城市民の会

市民の立場から福岡城・鴻臚館の復元・整備を促進している。福岡の豊かな文化遺産を活かした町づくりや文化観光都市としての飛躍、さらには市民の郷土意識向上を目指す。

<http://fukuokajokorokan.info>

※NPO法人福岡城市民の会へのご入会をお待ちしています。事務局(092-716-8238)にお電話ください。

イ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

23 市民の手で作りだす 世界No.1のおもてなし都市

福岡市観光案内ボランティア協会

豊かな自然や文化・歴史をもつ観光都市・福岡市での滞在を楽しんで貰えるよう、「福岡市観光案内ボランティア」が案内人となり、福岡市内の観光名所やお勧めスポットのまち歩きを行っています。まちを愛するガイドが紹介する「福岡・博多」はガイドブックでは得られない魅力ある情報で溢れており、毎年多くの観光客や市民に利用されています。天神コースと博多コースの無料定時ツアーのほか、要望に合わせて案内するまち歩きや募集型まち歩きなど、四季を感じながら楽しめる企画も展開しています。

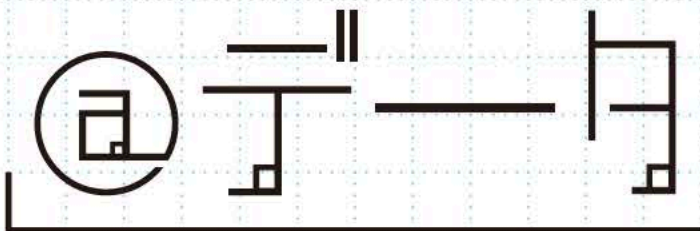


24 縁や絆を大切につなぎ、文化へと広げる

特定非営利活動法人 3Knots(スリーノット)

自分たちの住む地域で多くの芸術作品に触れることは、感性や創造力を育み、新たな地域のふれあいの場づくりに繋がるという思いから、伝統工芸やものづくり、パフォーマンスなど、幅広い文化芸術分野の表現者に、展示会の開催、アトリエでの作品販売といった支援を行っています。また、作品づくりを実際に体験・体感できる機会として、市民を対象とする絵画造形教室やワークショップなども多く開催し、文化芸術の裾野を広げる活動にも取り組んでいます。





「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

#歴史が積み重なるまち

教えてくれた方

福岡市経済観光文化局
埋蔵文化財課

本田浩二郎 さん

Kojiro Honda



歴史と文化が
受け継がれています

その始まりは紀元前から。 古くからの国際交流都市

福岡の歴史は古く、その始まりは約2万年前に遡ります。「博多」という地名が出てくるのは、奈良時代。天平宝字三(759)年の『続日本書紀』では、この名が記載されています。大陸との交易の玄関口となったため、その頃から「博多」が、交易・交流の町という認識は定着していたようです。一方、「福岡」という地名は、筑前国主となった黒田長政が、新しい城と城下町をつくり「福岡」と改めたことで登場します。以来、古くからの商人の町「博多」と城下町「福岡」という双子都市となりました。

そんな博多の市街地には、古くから続く寺社が数多く残っており、現在でも市内の寺社354箇所のうち、62箇所がこの地域に集まっています(Data1:福岡市調べ)。そうした寺社の中には、日本最古の寺や、うどんやそば、ういろうなどの発祥地とされる寺など様々な伝承もあり、福岡・博多が古くから国際交流都市であったことがうかがえます。

歴史が深いからこそ! 調査報告書の数は日本一

大陸との玄関口として栄えてきた福岡・博多のまちには、寺社のほかにも伝統技術や民俗芸能など数多くの有形・無形文化財が残されています。中でも多くの文化財を今に伝える遺跡(埋蔵文化財包蔵地)は、市内で1000ヶ所以上にものぼり、旧石器時代から近代まで、福岡

★Data1 福岡市内に比べると博多旧市街エリアは45倍にも!! 全国の寺社密度(1km²あたり)

博多旧市街エリア

博多旧市街エリア	45.3
大阪市	5.89
東京 23 区	4.46
名古屋市	3.18
堺市	2.14
京都市	2.14
和歌山市	1.65
岐阜市	1.44
横浜市	1.42
神戸市	1.18
福岡市	1.03

博多旧市街エリア
45.3 カ所
(1km²あたり)

出典:Fukuoka Facts

がそれぞれの時代に重要な役割を果たした都市として、豊かな歴史を積み重ねてきたことがわかります。発掘調査では、その成果を周知し活用できるように、記録と学術的な成果を記録する報告書をまとめますが、これまでに福岡市で刊行された報告書の数は、1300冊以上。これは日本国内の自治体で一番の冊数となります(Data2:福岡市調べ)。歴史が深い福岡だからこそその成果だと言えそうです。

発掘された文化財は、 広く公開しています。

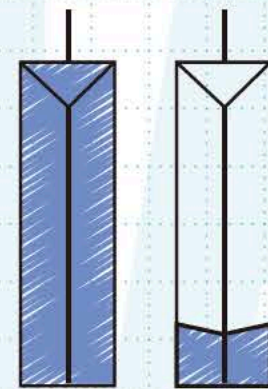
市内で発掘された文化財は、保存や整備を終えて、『福岡市博物館』や『福岡市埋蔵文化財センター』で市民のみなさんに公開されています。福岡市ではほかにも、発掘現場で体験しながら解説が聞ける『現地説明会』を開催したり、文化財の詳細情報をホームページで確認できるようにしたりと、福岡の歴史・文化について興味をもってもらうための取り組みが好評です。より深く福岡のこれまでを知ることで、市民としての誇りが大きくなることを期待しています。

★Data2 発掘調査報告書の全長



総数
1384冊

報告書を縦に並べると...



全長
約395m

福岡タワー

約1.2本分 に相当

出典:福岡市(埋蔵文化財課調べ)

博多旧市街プロジェクト

中世における日本最大の貿易港湾都市・博多の中心として栄えた「博多旧市街」には、歴史・伝統・文化が数多く伝わっています。そうした価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、官民が連携しながら、街の魅力を高めていくのが「博多旧市街プロジェクト」です。



あすみんのオススメ

ASUMIN Recommend

登録団体ファイル

あすみんでは、登録団体について多くの方に知っていただくため、1団体ごとにファイルを作成し、団体の基本情報を公開しています。また、規約や過去に開催されたイベントチラシ、活動報告書といった情報もまとまっているため、気になる団体の活動状況を知ることができます。団体を探すときには、活動分野と活動地域で分けた便利な索引もご用意していますので、ぜひお気軽にご利用ください。



ファイルの利用について

- ファイルは、あすみんの登録団体のみ作成できます。
- 開館時間中、どなたでも自由にご覧いただけます。
- 一部、非公開の情報があります。あらかじめ、ご了承ください。

ホンダナ!

HONDANA!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

シビックプライド 都市のコミュニケーションをデザインする



ISBN: 978-4-88335-208-1
定価: 2,052円(1,900円+税)
判型: A5判並製
ページ数: 224

「シビックプライド(=都市に対する市民の誇り)」は、地域活性の切り札として脚光を浴びています。本書の第1弾では、ヨーロッパを例に、都市が持続し、豊かになっていくためのコミュニケーションデザインについて分析しています。都市と市民のコミュニケーション手法について学べる一冊です。第2弾(別冊・シビックプライド2)では、国内の取り組みに焦点を当て、シビックプライドの手法を紹介。

【監修】伊藤香織 / 柴牟田伸子
【発行】株式会社宣伝会議
【発行年】2008年

登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号640~654)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ● 特定非営利活動法人九州DARC | ● 長尾コミュニティスポットわくわく |
| ● 福岡バラ会 | ● Fの会 |
| ● TAMU DHIN KYUSHU JAPAN | ● 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク |
| ● AMAJ | ● ドナルド・マクドナルド・ハウスふくおか |
| ● NPO法人福岡市民の会 | ● かず総研 |
| ● アントロポゾフィー看護を学ぶ看護職の会・九州支部 | ● 楽しく動画を作る会 |
| ● NPO法人みんなの学び館 | ● アルバム作りを楽しむ会 |
| ● CGMボランティア福岡 | |

登録有効期限のお知らせ

登録番号が【0001~0593】の団体は、2018年8月31日をもって、平成30年度の登録有効期限が終了いたしました。更新の手続きが済んでいない場合は、2019年3月31日までに手続きが必要です。お済みでない団体は、お早めに手続きをお願いいたします。 必要な書類など、詳しくは窓口へお問い合わせください

利用団体登録について

Check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、(8)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

登録に必要な書類

- (1) 福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2) 団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3) 活動計画書
- (4) これまでの活動実績がわかる資料
- (5) 役員名簿
- (6) 自己チェックシート
- (7) 印鑑
- (8) 申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください	
地下鉄をご利用の場合	●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
バスをご利用の場合	●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
電車をご利用の場合	●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分



HP



facebook

